

身近な植物の生活史・形態・生態をともに学びながら探る

身近な植物学講座

第2回

マツ科の球果



主な内容

- 1 裸子植物という生き方
- 2 針葉の特性
- 3 マツ科樹木の仲間
- 4 マツカサ状の構造物“球果”と針葉樹のタネ

陸上の植物の歴史は、古生代までさかのぼることができます。長い年月をかけて、植物は地上の全域に広がり、進化してきました。この進化の最大の鍵となった革命的な出来事の一つ、それが“種子”というものの出現です。今回は、マツカサ状の構造物“球果”を通して、針葉樹の生活史、生態など裸子植物への理解を深めます。

講師：小林富一郎 山梨県植物研究会会長・植物研究家

受講料 無料

開催日時 7月16日(日)
午前9時30分～11時

開 場 武田の杜サービスセンター

申込・問合せ：

山梨県植物研究会事務局 yama_syoku_ken@gmail.com

武田の杜サービスセンター takedanomori@y-zouen.jp

